

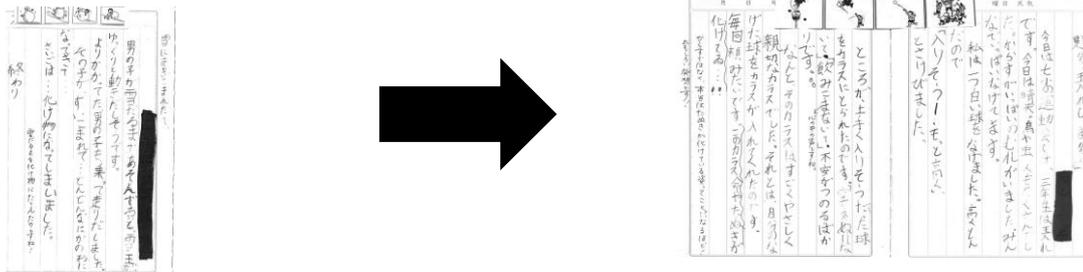
1年間の成果と課題

日記<成果>

- ・国語で報告文を学んだあと「1つ目～、2つ目」と項目立てて作文を書く児童が増加した。
- ・「はじめ・なか・おわり」(段落)を意識して作文を書く児童が増えた。
- ・4コマまんがが作文では、書く際に、書くポイントを明らかにした。その上で継続して取り組ませた結果、書く量・内容ともに向上した。(1コマ1文→1コマから想像できる景色なども具体的に書けるようになった)

<課題>

- ・出来事をそのまま羅列する児童もいるので指導が必要。「～。」の書き方が定着していない。
- ・感想や思ったことなどを深く書くことができなかったのも、引き続き指導が必要。



ICT 端末の活用<成果>

- ・ICT 端末の活用により、児童の意見がすぐに共有でき、自分の考えと比較しやすくなった。
- ・報告文を、ICT を使ってまとめた児童は、訂正がスムーズに行えてよかった。
- ・国語の読み取りの際に、ICT を用いて登場人物の心情を考えた。1つのページに心情曲線や根拠となる文をまとめ、グループ同士で比較した結果、思考の深まりがみられたのは良かった。

<課題>

- ・使う目的を間違えてしまうと、指導の手間が増え、時間がかかる。

学年の取り組みで効果的だったもの

- ・課題設定の工夫……………「だれにどのように、どんな目的で」がしっかりしていると、児童は意欲をもって主体的に活動できると感じた。
 - ・書き方・表現方法の指導……………「報告文レベルアップ！ポイント」があることで、報告文を書く際に見通しが持て、書き方がわからない児童への具体的な手立てにもつながった。
- これを生かして、「書き方レベルアップ！ポイント」を作成し、国語の教科書に張り付け、文章を書く際の参考にさせた。
- ・学習課題と正対したまとめ・振り返り・1時間でどのような学習をするのか、それに対してどのようなことがわかったのか、学びに繋がったのかを意識させた。繰り返し学習していくうちに、学習問題やまとめを自分の言葉で書けるようになった児童が増えていった。

今年度の研究について

- ・国語科×総合をベースに授業に臨んだ利点として、児童が必要感を持って取り組むことができた。「柏市観光大使になる」ために必要な情報は総合で習得し、まとめ方を国語科の単元を通して身に付けることができた。
- ・書く力に関しては、「レベルアップ！ポイント」を示すことで、段落分けや文のまとまりをしっかりと書くことができる児童が多くなった。「レベルアップ！ポイント」に関しては、教科書の表紙に貼らせたり chromebook に載せたりしていつでも見返せるようにすると、振り返りがしやすかったように感じる。しかし、情報収集の時点で、自分の知識としてうまく取り込めなかった児童はまとめ方に苦戦していた。そのため、児童にわかりやすい資料(子ども向け)の提示が必要だったと思う。